



第30号

発行 弘前大学教育学部同窓会  
〒036-8560 弘前市大字文京町1  
TEL. 0172 (36) 2111 代表  
編集事務局(仮事務局)  
弘前市樹木四丁目1の24  
葛西恒雄  
TEL. 090-6781-4463



弘前大学教育学部同窓会会長

木村 清之助

弘前大学

創立六十周年を迎えて

昭和二十四年に文理学部、教育学部、医学部の三学部で開学した我が母校弘前大学が今年で六十周年を迎えます。これまで関係各位のご尽力により、学生総数六千八百名を擁する総合大学に飛躍的に発展し、五万六千名を越える卒業生を社会に送りだし、社会の発展に貢献してきました。

つきましては、創立六十周年記念事業後援会を設立して、大学の一層の発展を願って支援に取り組んでおります。事業として、記念

式典、記念学術講演会、国際交流基金の創設(学術交流協定を結んでいる外国三十四大学との国際交流)弘前大学六十年史の刊行(地域に広く大学の理解を深め得る資料として)、研究・産学連携事業(地域企業等との研究連携)、記念建造物(太宰治の記念碑)、学生支援事業などを計画しています。大学が法人化してから五年になります。大学の運営が厳しさを増してきております。昨今の景気・経済も厳しい環境にあります。が、

何卒記念事業へご協力くださいませよう、お願い申し上げます。

去る二月二十三日に教育学部と同窓会の懇談会が開催されました。大学側から、全国初の文科省認定による教員養成の在り方を研究開発する「教員養成学研究開発センター」をはじめ、各部門の詳細な活動状況の発表がありました。昔は考えられないような研究、教育、地域との連携など、実に多様な活動状況に感動しました。また校舎がもう古くなり、三期に分けて改築が始まるとの話もあり、どのような姿になるか楽しみです。



教育学部長

昆 正博

現況と将来計画

最初に、今年の学生の就職状況をご報告します。

地元青森県と東北・北海道は厳しい状況ですが、学生諸君と就職対策委員等の頑張りで昨年並みの良い就職率となりそうです。

次に、主な項目をご報告します。

①校舎改修  
長年にわたり、同窓会の全面的なご支援のもとで現在の教育学部校舎の改築を要望してきましたがうれしいご報告です。この第二次補正予算で、教育学部校舎の改修が認められ、二十一年度に三期工事の第一期工事が始まります。

②第二期中期目標  
法人化後の第二期中期目標・中期計画の策定作業が進んでいます。

教育学部・研究科は、「教職員と組織の教育・研究能力をさらに高め、専門性を重視した大学教育の基盤の上に、高度教育専門職を養成することを目指す」を基本にし、当面は構築してきた結果を点検し、教育・研究の質と学生の学習意欲の向上を目指したいと思えます。

③養成学センター第二期計画  
全国初の「教員養成学研究開発センター」の来年度が時限設置の最終年となります。センターの業

務を拡大し、基礎的な研究機能に加え、教育の現場への研究成果の応用、学生の卒業後支援を含む新センターの設置計画を策定中です。

④附属学校園

附属教員の教育・研究力の向上のための仕組みを構築し、附属学校園が高度な実践的研究の場、先進的な教育を踏まえた教育実習の場、地域の教育力向上の拠点となるように整備する計画です。

⑤教育力向上プロジェクト

「青森県における教育力向上プロジェクト」ラボ・パスを用いた教育実践(特別教育研究費九四、七五四千円)がはじまりましたが、次年度も三、〇〇〇千円の予算がみとめられました。学生・教職員ともに頑張っておりますのでご支援ください。



教育学部同窓会副会長 奈良 年永

### いまこそ飛耳長目

目の耳に近い方のはしのことを 毗(目じり)と言います。目を大きく見開き怒ったり、決心したりした時の表情をいうようです。これに裂くとか、破る、切れるの決をつけ毗を決するとして、目じりを裂くようにカッと目を見はるという意味で用います。

昨年十月に「松陰ツア―」で萩に出かけ、吉田松陰が伊藤博文・山県有朋等六人の若者、それも武士の中でも最も身分の低い軽率に『飛耳長目』の役割を与えていたことを知り愕然といたしました。このように国(藩)のための重要な活躍の場を与えられたがために後の伊藤や山形があることを知りました。松陰は「常々耳を飛ばし、目を長くしてできるだけ多くの情報を集め、今後の見通しや計画を立てることが重要である」と情報必要性を説いていました。松陰自ら海外渡航に失敗し、自宅謹慎になった後も、萩に居ながらにして塾生の多くに情報を集めさせ、様々な知識を得ていたのです。

るか、藩に示す時だ」と。

松陰は、学問のための学問は、松下村塾ではない。生きた学問、それは学んだことを実行して生かす学問であると説いていました。当時知識ばかりが豊富で、実行の伴わない人間が多かった。そんな人間を嫌った松陰は、学んだことを実行して生かす学問こそ最も大切だと教えていたのです。

今日、求められているのは、この松陰の教えに習いながら、教育・学校を取り巻く情報が氾濫している中から真なるもの、生きる力となるものを飛耳長目の精神で選択し活用していくことだと思えます。さらに若い方々に、飛耳長目の役割を与えて育てていくこともこれからの教育・学校では肝要なことだと思えます。

いつ何が起ころかわからない、何が起きてもおかしくないような危うい状況にある学校・子どもたちの未来を背負っている教育現場における校長が、学校経営等に毗を決し、飛耳長目で取り組むことでリーダーシップを発揮されることを切に願うものであります。



就職対策委員会委員長 宮崎 秀一

### 新卒採用難関時代における 学生自身の「変革」

全国四七都道府県と一三政令市中、青森県が第四位、お隣の秋田は鳥取に次ぐ堂々の二位、岩手も六位入賞！北東北三県が上位に並び、最下位グループに横浜、東京都圏、名古屋、千葉など軒並み大都市圏というこのランキングとは？平成二〇年度実施、二一年春採用公立学校教員採用試験の全校種平均倍率の順位です。青森が一五倍(小一九・七、中一五・七など)に対し、横浜市は三・三倍(小二・二、中六・二など)と三人に一人が合格できます。

七月上旬、今年も首都圏第一試験受験生を乗せたチャーターバス二台が大学を出発。この試みも(実は私が発案者ですが)四年目になりました。上記倍率の下、首都圏に合格し地元がダメだったケースでの選択は、大別すると①思い切って都市部へ飛び出す、②都市部では自信がないので地元講師を待つ、の二群ですが、数年前まで圧倒的に多かった②が最近①に逆転されました。②の一部が不安視しているモンスター・ペアレントは(和製造語のようで、アメ



### 附属教員養成学 研究開発センターの今

専任教員 佐藤 紘昭

六名の計九名が「研究企画」、「教員養成学研究」、「カリキュラム研究」いずれかのグループに所属し研究活動に取り組んでいます。

主な活動内容は、①「教員養成学」を研究領域の一つとして確立し、研究拠点を構築するための基礎研究を行うこと。②新教員養成カリキュラムによる四年間の成長過程を分析し、その効果を検証し改善を行うこと。③教員として最小限必要な資質能力が身につけているかを確認し知識や技能を補うため、平成二十二年度入学生から必修化される「教職実践演習」の

り力では児童虐待する親のイメージだ(そうです)、近頃どこにでも生息しますし、地方は講師ポストさえ限定されつつある現実も背景にあるようです。

むしろ、従来の悲壮感漂う選択から、より積極的に日本の真ん中で子どもたちに愛情を注ぎ能力を発揮しようと自己変革への意気込みを感じます。

来年度は景気後退の影響で、地方・都市部を問わず教採の倍率は跳ね上がると思われています。就職対策委員会としては可能な限り学生の就職支援に力を傾注してまいりますので、今後とも同窓会の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

円滑な導入のため、現在開講している教員養成特別科目を再編成をすること。④学生の教職課程の履修状況を把握し、目ざす教師像に向かって自己目標・自己課題を設定し、自己点検、自己評価等を計画的に実施するためのプログラムを作成すること。その他、研究機関誌『教員養成学研究』や広報誌『協働』を定期的に発行しています。

今後は、これまで得られた成果を活かし、大学における教員養成の一層の充実に努めるとともに、地域及び卒業生、臨時講師も含めた教員総体の教育力向上に資するため、専門的支援機能を発揮していきたいと願っています。

同窓会諸氏のご理解とかわらぬご支援を心からお願いたします。

# 弘前大学創立六十周年 記念事業への募金のお願い

平成二十一年六月六日、大学創立六十周年記念式典を挙行することになり、現在これに伴う記念事業の募金を行っています。何卒ご協力よろしく願います。

◎個人の場合 一口五千円以上の  
ご協力お願いします。

◎法人の場合 特に金額は定めて  
おりません。

(この寄付金は、所得税法、法人  
税法による税法上の優遇措置が

受けられます。)

☆主な事業内容

- 一、記念式典・記念講演会
- 二、国際交流基金の創設
- 三、弘前大学創立六十周年記念史  
刊行
- 四、「太宰治」の文学碑の建立
- 五、大学フィルハーモニー管弦楽  
団の演奏会(会場：弘前市、  
青森市、八戸市の三会場)



お振込み先	* 青森銀行弘前支店	普通	1 2 2 7 1 4 1
	* みちのく銀行弘前営業部	普通	2 6 1 1 7 6 7
	* 郵便局	0 2 2 1 0 - 2 - 5 3 9 9 1	
	* 東奥信用金庫 富田支店	普通	1 0 9 8 9 0 0
口座名義	国立大学法人弘前大学 学長 遠藤正彦		
[問合せ先]	国立大学法人弘前大学総務部総務課		
	TEL 0172-39-3007		

# 平成二十年度 弘前大学教育学部・同窓会懇談会

今回で五回目となる平成二十年度の教育学部と同窓会との懇談会は、例年十二月始めに行われていましたが、教育学部の都合により二月二十三日(月)午後四時より教育学部第一会議室にて行われました。教育学部からは、昆学部長はじめ、十九名の教官職員、同窓会からは木村会長以下十八名の出席のもと、和やかな雰囲気でのような現況報告と要望が提案されました。

- 一、学校サポーター活動の現状  
について(希望者減少)
- 二、今年度の進路状況について  
(例年と同様八十%くらい)
- 三、四、五年前からの進路状況  
について(右肩上がり)
- 四、卒業生の追跡調査について  
(個人情報保護に難しい)
- 五、教員養成学の研究開発の状  
況について

## ◎質疑応答・意見交換の内容

近年、弘前大学は改革が急速に進んでいることを中心に説明が行われました。教育実習のカリキュラムは一年次から始まり、三年次で免許単位に関わる実習は終わり、四年次は研究実習や学校サポーター等で現場に関わる経験を多く取り入れているようです。卒業後の進路状況については教員以外にも拡大していること、就職率も上がっていること、首都圏周辺への就職が多くなっていることなどが報告されました。

そのあと懇親会が開かれ親交が深まりました。

## お知らせ

### 美術科OB展

七月九日午後十二日まで  
弘前文化センターにて

◎同窓会から教育学部への要望・  
質問について

- ◎教育学部の現況について
  - 一、教員養成研究センターの活動状況について (和久)
  - 二、生涯教育課程の将来構想について (肥田野)
  - 三、大学院教育学研究科の現況について (小玉)
  - 四、教員職員免許状更新講習について (伊藤)
  - 五、就職状況について (宮崎)
  - 六、青森県教育委員会等との協定締結について (北原)
  - 七、附属学校園の現況について (本間)
  - 八、その他
    - 臨床心理士養成と心理臨床相談室について (豊嶋)



平成19年度決算

○収入の部 (19.4.1~20.3.31)

Table with 4 columns: Category, 19年度予算, 19年度決算, 備考. Rows include 会費, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計.

○支出の部

Table with 4 columns: Category, 19年度予算, 19年度決算, 備考. Rows include 総会費, 評議会費, 支部活動費, 通信費, 就職対策費, 教育開発活性化経費, 特別対策費, 社会教育主事講習経費, 教大協東北地区評議員会経費, 事務経費, 会報印刷費, 全学同窓会費, 事務局費, 雑費, 計.

2,248,698 - 2,214,730 = 33,968 33,968円は次年度へ繰り越し

平成20年度予算

○収入の部 (20.4.1~21.3.31)

Table with 4 columns: Category, 19年度予算, 20年度予算, 備考. Rows include 会費, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計.

○支出の部

Table with 4 columns: Category, 19年度予算, 20年度予算, 備考. Rows include 総会費, 評議会費, 支部活動費, 通信費, 就職対策費, 教育開発活性化経費, 特別対策経費, 社会教育主事講習経費, 事務経費, 会報印刷費, 全学同窓会費, 事務局費, 雑費, 計.

庶務報告

- 19. 3. 同窓会費納入依頼
19. 6. 16 平成19年度総会
19. 6. 21 採用試験の援助活動(模擬面接)
19. 12. 5 同窓会・教育学部懇談会
20. 3. 7 会報「あすなろ29号」発行
20. 3. 21 弘前大学卒業式・祝賀会
20. 5. 30 会計監査

平成二十年度の定時総会は、平成二十年六月十四日(土)午後二時より、弘前パークホテルにおいて開催された。当日は二十五名の参加のもと、議長に花田幸三氏(弘前市)を選出し、質疑応答が行われた。質疑応答は、平成十九年度の決算報告や平成二十年度の予算審議等の他、会報の配達や連絡方法等、会費の納入が依然として低調なのでどうしたらよいか等であった。

平成二十年度 弘前大学教育学部同窓会 定時総会報告

事業計画

特別会計基金

- 1. 同窓会費納入 《青森銀行関係》
2. 総会 7,528,910 + 13,553 = 7,542,463円(利息)
3. 教員採用試験の援助活動 7,542,463 - 700,000 = 6,842,463円
4. 同窓会・教育学部懇談会
5. 会報「あすなろ30号」発行 《みちのく銀行関係》
6. 弘前大学卒業式・祝賀会 7,398,711円
7. その他 平成20年度予算へ800,000円を切り入れる予定

平成二十年度役員

- 名誉会長 昆正博(学部長)
顧問 齋藤善三(弘前市)
副会長 木村清之助(弘前市)
会長 奈良年永(青森市)
会計・監査 工藤睦男(弘前市)
支部長 三浦則孝(つがる市)
支部長 1. 弘前・中郡支部 笹森義男(弘前市)
2. 黒石・平川・南郡支部 横山岩雄(小和森小)
3. 五所川原・北郡支部 田中高志(毘沙門小)
4. つがる・西郡支部 内山博文(鳴沢小)
5. 青森・東郡支部 奈良年永(青森市)
6. 八戸・三戸郡支部 澤田明久(八戸市)
7. 三沢・十和田・上北郡支部 廣野雅美(野辺地町)
8. むつ・下北郡支部 宮木正信(白糠小)
9. 弘前大学教育学部支部 鎌田耕太郎(教育学部)
10. その他の地区支部
評議員 1. 弘前・中郡支部 赤石和夫(弘前市)
2. 黒石・平川・南郡支部 秋田豊(弘前市)
3. 藤岡進(弘前市)
4. 栗林幸三(弘前市)
5. 花田幸三(弘前市)
6. 中畑利文(弘前市)
7. 立花茂樹(弘前市)
8. 稲葉文樹(弘前市)
9. 山内孝行(上十川小)
11. 青森・東郡支部 吉田秀一(青森市)
12. 西館暁子(青森市)
13. 須藤努(青森市)
14. 相沢正雄(青森市)
15. 八戸・三戸郡支部 成田誠二(八戸市)
16. 関根建夫(三戸郡)
17. 高橋信夫(八戸市)
18. 佐藤俊男(八戸市)
19. 尾崎官一(石鉢小)
20. 千葉力久(北稜中)
21. 築瀬真知雄(柏崎小)
22. 小林吉春(白鷗小)
23. 三沢・十和田・上北郡支部 岩田繁雄(十和田市)
24. 梅田真規(六戸町)
25. 山村義一(三沢市)
26. 永瀬俊明(三和町)
27. 馬場せつ子(三沢市)
28. 川村正(三沢市)
29. 福沢周治(木ノ下中)
30. 樋口博昭(六戸小)
31. むつ・下北郡支部 工藤魏(むつ市)
32. 太田久美子(老部小)
33. 弘前大学教育学部支部 村山正明(教育学部)
34. 平岡恭一(教育学部)
35. 小林央美(教育学部)
36. 村上和博(附属小)
37. 野呂徳治(実践センター)
38. その他の地区支部 葛西恒雄(弘前市)
39. 相木英理子(弘前二中)
40. 五所川原・北郡支部 中野雄臣(松島小)
41. 草創文人(中里小)
42. 西郡支部 屋敷政勝(森田小)
43. 高橋範隆(舞戸小)
44. 野崎正人(稲垣西小)
45. 木村道浩(森田小)
46. 尾崎修一(繁田小)